

仲間まちづくり塾 かわら版

～街なみのルールづくりに向けて～

2007
3月30日
発行

発行者：浦添市景観まちづくり事務局（浦添市都市計画部美らまち推進室） TEL：876-1234（内線 4061～4064）
FAX：879-7138 E-Mail：tyuramachi@city.urasoe.lg.jp <http://www.city.urasoe.lg.jp/chura/index.html>

● 「仲間まちづくり塾」「かわら版」とは？

- 仲間まちづくり塾とは、平成12年から本格的に取り組まれているもので、仲間地域の方々と行政が地域のまちづくりについて話し合う場です。これまで、仲間地区のまちづくりの将来像実現にむけて意見交換を行ってきており、その中には、まちづくりの目標などが示されています。現在、地域と行政が一緒になって浦添グスクのまちにふさわしいまち並みのルールづくりについて、取り組んでいます。「かわら版」はそれらの取り組みについて情報共有、共通理解を図るための目的で発行しています。

【仲間まちづくり塾の主な内容】

ここでは、3月24日（土）に仲間公民館で開催された主な内容を紹介します。

- ・今回の仲間まちづくり塾には、子どもから年輩の方等、約33名が参加しました。

1. 事前説明

- ・これまでの仲間地区での取り組みのポイントを紹介し、将来像を実現するための具体施策の1つである「街なみのルールづくり」について、今回具体的に取り組むことを説明。

2. 各地の景観配慮の事例

- ・街なみのルールづくりのイメージを図るため、良い景観や阻害要素等、道路と敷地との境界部分のつくりや建物つくりについて、事例写真（スライド）の紹介を行いました。

3. 地区歩き

- ・参加者全員で以下の順路を歩いて、仲間地区の街なみ（敷地内緑化、塀・門、車庫・駐車場、壁面後退、屋根の形態・素材、屋上設備、建物の色など）の状況を再確認しました。

< 順路 >

仲間公民館（出発）→仲間ンティラ→クバサーヌ御嶽→仲間線（市道）→浦添グスク・ようどれ館→浦添グスク付近からの眺望→仲間樋川→ヌン殿内→根殿内→仲間公民館（到着）



【地区歩きの様子】

4. 街なみルールづくりのワークショップ → 裏面を参照

- ・地区歩きで感じたことや気づいたこと、街なみで配慮することなど、仲間地区の街なみのルールについて、3グループに分かれて、ワークショップを行いました。

5. 次回日程

■ 4月24日（火） 午後8：00～ 自治会事務所
～仲間地区の街なみの方針とルール（案）～

次回は、今回の街なみルールづくりワークショップ内容を踏まえ、事務局が街なみの基準（ルール）案を作成し、意見交換等を行います。次回の皆様の参加をお待ちしています。

～街なみルールづくりのワークショップの様子～



～街なみルールづくりのワークショップの主な意見の紹介～

塀・屋敷囲い

- 道路に面する塀の高さは、80～90cmの高さにし、石張等の工夫をする
- 道路に面する塀の高さは敷地から60～80cm。(擁壁は含まず)その上側に、植栽があり道側へ緑があふれ出るのが良い。
- 道路に面する塀の材料は問わないが、表面をツタで緑化したほうが良い。
- 坂道に面した塀の高さが段々になっており、道の勾配に合わせて緩やかにしたらどうか。
- 道路に面した塀の高さは制限しても、隣地境界は高低差があり難しい。
- 隣地境界の塀はプライバシーの問題があり高さの規制の必要はなし。
- 塀の高さがそろっていない、そろえてはどうか。

緑化

- 車庫の屋上も緑化に努める。
- 共同住宅等の駐車場も緑化に努める。
- 植物(木など)の補助があると良い。
- 敷地内の舗装の芝張りに努める。(特に、道路に面する間口部分について)

駐車スペース

- 車庫の見えない屋敷数はほとんどなかったもので、道路からの車庫の見え方が重要になるだろう
- 屋根の緑化や地面を芝など。
- 舗装面を芝ブロックなどで補強し芝植栽を行。

建物の色

- 原色やケバケバしい色は避けたほうが良い。
- 建物の色が地域にマッチ(調和)していない。
- 基本色を決め、範囲を定めたほうが良い。
- ハウスメーカーなどは外壁の材料や色が決まっているので配慮が必要ではないか。

その他

- 植栽について、樹木、花のアドバイザーが必要。その窓口の設置を市にお願いしたい。
- 建築についても同様に相談窓口が必要。

建物の建つ位置(建物外壁の後退)

- <道路に面した部分>
- 外壁の道路からの後退(セットバック)は必要である。道路の境界から最低1.5m以上離す必要がある。
- 外壁の道路からの後退は、ゆとりある街並みを考えたら必要なのは分かるが、厳しいと建物が建たなくなり困る。
- 2面の道路に面する場合は、幅員の大きい道路からは1.5m、小さい方からは1.0mとしてはどうか。
- <敷地境界の部分>
- 隣地境界からは最低1m以上離す必要がある。
- 隣地境界からの後退距離は、道路に面していないので特に必要ない。
- 隣地境界のからの後退は、今後の課題にしては。

屋根

- 屋根は、在来の赤瓦・勾配屋根が良い。
- 勾配屋根は屋上利用ができなくなる。
- 屋上緑化を行うのも良いのではないか。
- 赤瓦屋根は景観的に良いと思うが、補助をしてほしい。
- 屋根は三角(勾配)屋根が良い。

土地・敷地

- 敷地が細切れになり分譲されており、ゆったりした、仲間の良さが失われつつある。
- 空き地を菜園化することは、情操教育に良い。(じゃがいも 500kg収穫があった)

道

- <電柱>
- 電柱が道路に飛び出しているので目障り(仲間線(市道)だけでも電線地中化したらどうか)
- 市道仲間線工事にあたっては電線の埋立が無理なら、電柱を集約する(できる限り電柱は少なめにする)
- <舗装>
- アスファルト舗装の道路が坂道の部分は、雨降りには洪水になるので、透水性の舗装に配慮する。